

『花いらんかえ〜』を読んで。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのはどうしてだろう。

ただ花を売るだけでなく、いろいろな人との関係を
深めていきたいからだと思う。

自分が花を売って買ってくれる人にもたくさんほげま
してもらっているから、次は自分もみんほの話
聞いてあげたいという思いがあったから

私はこの資料を読んで、どんな職業にも人との
関わりがあり、みんな支え合って生きていることを
学びました。その関わりを深めることも大切なこと
感じました。

『花いらんかえ〜』を読んで。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのはどうしてだろう。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのは、人とのつながりを
大切に、人と関わるということが好きだからだと思います。人話
して人の意見を取り入れ、人とともに働く仕事、それは白川女という
仕事を思い、自分やその人にだけのために持っているか、どう
いう思いを持っているか、よく考える。よく考える。よく考える。よく
考える。そういう、目に見える人との関わりだけでなく、人の心と関わり、人の
心のこと、そういうこと、そういうこと、私の祖母は白川女と
いう仕事を続けることには理由の一つがあると思います。

『花いらんかえ〜』を読んで。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのはどうしてだろう。

自分をまわっている人がいて、自分らしく楽はられる仕事
だからだと思った。自分を、必要として持っていて人が
いるかぎり、この仕事をつづけていこうという、使命感が
あるんだなと思いました。

『花いらんかえ〜』を読んで。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのはどうしてだろう。

「私」の祖母が白川女の仕事を続ける理由は、誰かの役にた
たいと思う心があるからだと思いました。花を売るのも誰かの役に
たっているとはいえるけどそれだけではないと思いました。「私」
の祖母は、花を売る時に、いろんな人と話したり、心配したりし
ています。「私」の祖母は、こういうふうなことで誰かが良い気持
ちになってほしいと思うからこそ白川女の仕事を続けていると思
いました。でも祖母は、これを自分からやっているというより、相手が
から話かけているから、祖母は、人から頼られる存在なんだな
と思いました。それに、祖母は、この仕事が生きがいでもあるのか
と思います。祖母自身も人から頼られてうれしいと思うし、嫌な
という気持ちでやっているのではないと思いました。このことをずっと
やるべきかあきらめなくなってきていると思いました。だからこそ
「私」の祖母は、白川女の仕事を辞めずに続けていると思いました。

『花いらんかえ〜』を読んで。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのはどうしてだろう。

祖母の生きがいだからだと思う。

人のつながりや仕事を通して、感じていたのだと思う。

色々な人の話を聞いて、「また来世」という言葉が祖母の心で
作り上げていたんじゃないかと思う。

人との関わりを大切に。それが仕事なのか？誰かの笑顔になる
か？ということ。白川女の仕事は、とても大切なことなんだなと、
思いました。

『花いらんかえ〜』を読んで。

「私」の祖母が白川女の仕事を続けるのはどうしてだろう。

膝を痛めても白川女の仕事を続けているのは、ただ商売
のためだけじゃなくて、その商売をすることで得られている
人の笑顔や、その相手との会話からうまれる関わりから、
自分にとって仕事を続ける意味はたくさんあると思います。
自分がどんな状況にあっても人の人との関わりを増
やすことは、自分の元気の源になるんじゃないかなと思う
し、その関わりからまたもう一度と喜びや力が広がり、増
えていくんだと思います。自分の仕事で相手にもそれ
で自分にも喜びや楽しみができていくんだなと思
いました。